



父親への哀悼の意を込め、
おやじバンドで熱演

杉山大起さん (24歳・長野)

「おやじ、聴いてるかー」熊谷市の八木橋百貨店で7月に行われた第10回おやじバンド大会。亡き父登美男さんが所属していたバンド「ROCK59」のメンバーとして、哀悼の意を込めて同大会で演奏したのが、杉山大起さんです。

ベースやドラムなど音楽の機材がそろった「音楽の部屋」を自宅に作り、毎晩楽しそうにベースを弾いていた登美男さん。その姿を見ていた杉山さんは、幼いころからベースやギターなどの楽器に慣れ親しんでいました。高校時代に文化祭のステージイベントでベースを担当し、卒業後もバンドでボーカルを務めるなど、音楽漬けの毎日を通り越しました。共通の趣味を持ちながらも、厳格な父とは生活態度や考え方の違いから、いつも衝突していたそうです。

父親と気まずい関係のまま日々の生活を送っていた杉山さんに、平成24年12月、悪い知らせが届きます。登美男さんの胃がんと肺がんが発覚したのです。病院での闘病生活が始まり、抗がん剤治療の合間に一時帰宅したとき、家族で



音楽の部屋の整理を行いました。薬の副作用でつらそうなのに、懸命に機材の使い方の説明をする父。治療に励むも、今年の2月、62歳の若さで永遠の眠りにつきました。

「自分たちに何かを残そうとしてくれたおやじのためにも、ベースの腕が上達したことを証明したい。それが親孝行になる」そう決心した杉山さんは「ROCK59」が再結成することを聞き、登美男さんの代わりにベースを弾きたいと頼みました。事情を聞いたメンバーは快く引き受け、おやじバンド大会に出場することになったのです。ベースの経験があるといっても、6年ほどブランクがあり、不安でしたが「やると決めた以上、中途半端ではいけない」という気持ちで猛練習しました。

そして大会当日。演奏する曲は「寺内タケシ」に「ベンチャーズ」のリズムのアレンジを加えたもので、かつて登美男さんが仲間と共に演奏した思い出の曲です。大勢の観客を前に、杉山さんの頭に真っ先に浮かんだのは、登美男さんのことでした。「おやじ、ちゃんと聴こえてるか。おやじが好きだった曲を弾いてるんだぞ。どうだ、上手いだろ」杉山さんは、一音一音語りかけるように演奏しました。

「大切な人が健康でいてくれることが、どれだけ幸せなことか分かりました」と語る杉山さん。「これからは家族や友人をもっと大切にしようと思います。もちろん、音楽も生涯続けていきますよ」とほほ笑むのでした。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

俳句

南河原 若林 水翁
片かげに駒の碑いだく松並木

白川戸 松本 忠之
放す度何か失うホタルの夜

持田 岡本千寿子
甲斐姫と名付けし蓮は夢の色

藤原町 上原ミサ子
神秘的今もほころぶ古代蓮

下中条 飯塚よね子
青田風心の刻の緩む午後

城西 西田吉之助
日陰にて習字手習い八十路越え

本丸 諸貫 節子
炎天を断ち切るごとく剛速球

長野 野中せき子
亡き夫の匂ひしみてる夏帽子

忍 飯島 素子
水底に歴史を秘めて古代蓮

向町 渡月 峯
いきいきと信号無視の鴨・小鴨

埼玉 萩原 初江
弾け舞う佐間天神社夏祭り

城南 千代田富士
炎天下野球ボールを追いかける

持田 伊藤 洋子
苦瓜植う朝毎つるの伸びにけり

長野 吉野 らん
旧友と紫陽花眺め語り合ふ

矢場 鈴木かづの
猛暑には抗うすべなし手立てなし

富士見町 森 節子
雨あがり白い花つけみよがあり

城西 山下 利江
古代蓮きれいに写す水鏡

荒木 藤田 明枝
夕入り日初せみの声ききにけり

城南 橋本千枝子
路地ゆけばまた足袋蔵や合歡の花

(木島 斗川 監修)



平成24年
9月生まれの
おともだち

平成24年11月生まれの
お子さんを募集します

- 9月2日(月)~30日(月)に電話またはEメールで広報広聴課 広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、10月2日(水)午前11時から市役所201会議室で公開抽選を行います。

応募お待ちしております!



黒崎 諒ちゃん (持田)
平成24年9月20日生まれ
父 祐さん 母 美加さん
「すくすく 大きくなあれ♡」



井上 結菜ちゃん (埼玉)
平成24年9月21日生まれ
父 卓さん 母 美貴子さん
「たくさんかわいい 笑顔みせてね」



大野 孝太郎ちゃん (谷郷)
平成24年9月12日生まれ
父 雄さん 母 千絵さん
「この笑顔が元気の源!」



木村 瑛翔ちゃん (谷郷)
平成24年9月16日生まれ
父 智彦さん 母 美奈子さん
「兄&姉と仲良くね♡」



木村 太一ちゃん (埼玉)
平成24年9月1日生まれ
父 雅一さん 母 雅子さん
「わが家の宝物 優しい人に☆」



松島 董恋ちゃん (門井町)
平成24年9月14日生まれ
父 賢仁さん 母 千尋さん
「お兄ちゃん達と 仲良くね♡」



ぎょうだの会社を クローズアップ!!

大和輸送株式会社

産業経済の発展を支える
輸送流通機構を形成



「より速く・より多く・より確実に、お客さまの大切な品物を届けること」その使命を果たすべく、日々まい進し続けているのが、行田市に本社を置く大和輸送株式会社です。

同社は、昭和47年に運送業者として創業。時代の流れによって変化する顧客ニーズを的確に捉え、昭和63年には事業拡大により倉庫業も手掛けるようになりました。現在では、北関東を中心に10事業所・8力所の倉庫を持つまでになり、首都圏と上越・東北方面への近・中距離輸送はもとより、全国各地の運送業者とのネットワークを駆使して物流に大きく貢献しています。

「お客さまのニーズに100パーセント応えるため、24時間稼働できる物流センターを構築していきたい」坂本和雄代表取締役社長はこれからの経営ビジョンを語ります。次世代の輸送流通機構として、同社はこれからも産業経済の発展を支えていきます。

「より速く・より多く・より確実に、お客さまの大切な品物を届けること」その使命を果たすべく、日々まい進し続けているのが、行田市に本社を置く大和輸送株式会社です。

また、高度な情報技術で適切な物流サービスを提供している同社。「自動配車システム」や「自動ラック」などを取り入れ、迅速な輸送サービスの提供や荷物の破損防止など、最高品質のサービスを追及しています。「お客さまに心から喜んでいただきたい」その思いがサービスを通して伝わり、「大和輸送なら安心して任せられます」という温かい声が多く寄せられているそうです。

会社プロフィール

代表取締役社長 坂本和雄

事業内容 輸送サービス、倉庫サービス、流通加工、空輸・海運サービス

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。